

日本学術会議 環境学委員会  
環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会（第25期・第10回）  
合同会議議事録

日時：2022年1月6日（木）15:00～17:00

場所：遠隔会議

出席者：馬奈木 俊介、池邊 このみ、大塚 直、岸村 顕広、北村 友人、栗山 浩一、阪 智香、西谷 公孝

司会進行：馬奈木

記録：阪

（1）シチズンサイエンスから考える「社会」と「科学・科学者」、「社会」と「大学」の関係、日本社会全体の研究開発力を高めるためのオープンイノベーション拠点について

岸村 顕広委員から、科学技術の光と影、科学技術基本計画に見る「科学」と「社会」の関係、大学経営とコミュニケーション、大学の統合報告書、科学者（研究者）と市民とのつながり、シチズンサイエンス（市民科学）への期待、シチズンサイエンスの3つのタイプ、実践から見えてきたシチズンサイエンスの課題、若手アカデミーの提言「シチズンサイエンスを推進する社会システムの構築を目指して」、シチズンサイエンスの国際的議論、シチズンサイエンスをリード・実施する人材、タイプ別のシチズンサイエンスの事例、シチズンサイエンスの場、行政の活用、大学の活用、民間資金の活用、日本社会全体の研究開発力を高めるためのオープンイノベーション拠点、DXに基づく社会価値創造型のオープンイノベーションなどについて説明があった。

その後、企業との連携や学界における課題、日本企業のR&Dと競争力、長期の課題解決に向けてのシチズンサイエンスのプラットフォームと国内における課題などについての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（2）報告書の骨子について

（3）議事要旨

議事要旨の提出に関しては委員長に一任することを承認。

（4）次回委員会

2022年2月14日（月）13時～15時。

以上